

# 留 学 報 告 書

記入日:2016年1月20日



所属学部／研究科・学科／専攻	商学部
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文：西シドニー大学 現地言語：Western Sydney University
留学期間	2015年2月～2015年11月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	ビジネス学部
帰国年月日	2015年12月20日
明治大学卒業予定年	2016年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:2月下旬～6月 2学期:7月下旬～11月
学生数	40,000人
創立年	1989年

留学費用項目	現地通貨(AUSドル)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	6,000	600,000円	
食費	1,100	110,000円	
図書費	500	50,000円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	65	6,500円	
保険費	1,500	150,000円	形態:
渡航旅費	1,250	125,000円	
雑費		円	
その他	1,085	108,500円	留学準備費用
その他	5,000	500,000円	旅行
<b>合計</b>	<b>165,000</b>	<b>165万円</b>	

## 渡航関連

渡航経路: 大韓航空

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	
復路	
合計	125,240 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ネットで検索。ぎりぎり申し込んだので早く買うべき。

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 )

3) 住居を探した方法:

インターネットで検索をかけた

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私も引越をしたのですが、実際現地に着いてから住みたい場所などは決まってくると思うので、契約は短くしたほうが良いと思います。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した: 大学にはないので個人で手配が必要。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人、ホストマザー。窓口の有無は知らない。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ローカルの人に聞く。何も犯罪にはあわなかった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学では問題なく使える。街中もいたるところに wifi がある。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュカードでの引き出し。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

高いが何でも揃う。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
70 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The Market of Asia	アジア地域市場論
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Dr. Jonathon Hu
授業内容	インドと中国をメインにアジアへのビジネスについて
試験・課題など	レポート2つとプレゼン、試験
感想を自由記入	この授業はネイティブしかいなくて、プレゼンなどはとても緊張しました。しかし、先生が日本に興味を持っていることもあり、毎回授業中に話を振ってくれたり、日本について質問をしてくれたのでよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Marketing	国際マーケティング
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Nick
授業内容	海外へ商品を輸出するためのマーケティング方法について
試験・課題など	毎回のチュートリアルで課題が出ます。その他に2つのレポートと試験です。
感想を自由記入	とても実践的な内容で、一番楽しい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Management People at Work	マネジメント
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Liz
授業内容	会社でのマネジメント方法について 人々の働き方の変遷について
試験・課題など	2つのレポートと試験
感想を自由記入	1年生向けの授業なので、比較的簡単でした。マネジメントはどこでも使えると思うので、ためになったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing Principles	マーケティング
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Alvin. Chan
授業内容	マーケティングの基礎を学ぶと共に、グループで新製品の開発、提案を行った。
試験・課題など	クイズが3つ、レポートが3つ、グループプレゼンとレポート、試験
感想を自由記入	課題が多く大変でしたが、毎週グループで集まり、思い入れのある授業です。基礎なので色々な授業に応用が利き、履修してよかったと感じます。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2014年 1月～3月	
4月～7月	IELTS の勉強に励む
8月～9月	IELTS 受験
10月～12月	IELTS 受験
2015年 1月～3月	出国
4月～7月	試験
8月～9月	
10月～12月	試験、帰国
2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	国際化が進んでいる今日では、海外に若いうちに出ていくことはとてもプラスになると思っていました。また、就職活動が迫り来る中、自分は何をしたいのかが全然わからず、将来やりたいことを見つけるきっかけにもなれば良いなと思い、留学をしようと決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語力はもちろん、レポートも大量に課されるため、論文の書き方も勉強しておくと思います。また、新しい単語を覚える際には発音まで覚えておかないと、現地に行って会話ができないという事態が起ってしまいます。さらに、日本人ということで日本について様々なことを質問されると思うので、日本について調べておくと思います。
この留学先を選んだ理由	オーストラリアは日本に最も近い英語圏の留学先であり、また、時差もあまりないので選択しました。その中でも西シドニー大学を選んだ理由は、シドニーというメインの都市且つ、西エリアは日本人が少ないという情報を得たからです。
大学・学生の雰囲気	オーストラリアは多国籍国家のため、様々な人種の人がありました。そのためアジア人の見た目でも浮くことなく過ごすことができました。また、オーストラリアは様々なキャリア、人生の選択ができるため、年齢も様々な学生が通っていました。自由でも課題や試験などやる時はやる、とてもいい雰囲気の大学でした。
寮の雰囲気	寮には住んでいなかったのですが、楽しそうな雰囲気でした。週に何度もイベントが開催されて異なる部屋の学生とも友達になることができます。ただ、部屋の移動は最初の1週間を過ぎると有料になるため、ハウスメイトは運の部分も大きいかもしれません。
交友関係	最初は全く知り合いがいなかったのですが、早期に開催された交換留学生歓迎会で友人を作ることができました。同じ留学生の辛さを分かち合えてよかったです、また正規で留学している日本人、授業ではチームでの活動も多いため、そのメンバーと交友関係ができました。様々なイベントも開催されるので、そこでも友人を作ることができました。
困ったこと、大変だったこと	やはり、現地の学生と同様に課題をこなしていくことはとても大変でした。しかし、ネイティブの友人にレポートをチェックしてもらったり、プレゼンの聞き手になってもらったりすることで、いい成績を取ることができました。大変だったことは、今まで実家暮らしだったので、家事全般、特に風邪をひいたときは辛かったです。
学習内容・勉強について	私は主にマーケティングの授業を履修していました。最終学年の国際マーケティングやアジア地域のマーケティングなどの授業を取る一方、並行してマーケティングの基礎の授業も履修していたため、理解がしやすかったように思います。全体的に課題が明治大学よりも多く課されます。
課題・試験について	課題はレポートやプレゼン、小テストがありました。普段から復讐をしておくことはもちろん、一つの週に課題の締切が集中することも多々あるので、日程調整を早めにすると思います。また、試験は基本的に論文です。制限時間もあるので、事前に答えを何個か用意しておくと思います。
大学外の活動について	大学の近くの教会の英会話スクールに通い、その影響から時間が合えば日曜日のミサにも参加していました。また、日本とオーストラリアのサークル活動に参加をしたりしていました。これらを通して様々な友人が増えたので、積極的に色々な活動をしていくと良いと思います。
留学を志す人へ	英語力はなんとかなるので、ギリギリ合格点でも英語の試験を乗り切り、留学のチャンスを獲得してください。また、留学先では受身で待っていても何も始まりません。積極的に友達を作りに行き、教授のところへ通い、サークルやイベントには参加するようにしてください。そうすれば、自ずと道は開かれ、とても充実した留学になると思います。自分は留学をして様々な気づきを得ることができ、本当に人生が変わったと思うので、是非頑張ってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	予習・復習 や遊び	予習・復習 や遊び	予習・復習 や遊び	教会
午後	授業	授業	授業				友達と遊ぶ
夕刻		買い物	サークル				
夜	予習・復習	予習・復習	予習・復習				予習・復習